

(240)

第 2 歩脚	11.3 cm 10.5 cm	1.5 cm 1.4 cm	11.1 cm 10.0 cm	15.5 cm 13.5 cm	3.0 cm 2.5 cm
第 3 歩脚	9.5 cm 8.5 cm	1.3 cm 1.1 cm	8.5 cm 7.0 cm	11.5 cm 10.5 cm	2.3 cm 2.0 cm
第 4 歩脚	12.5 cm 11.0 cm	1.5 cm 1.2 cm	11.3 cm 10.0 cm	16.5 cm 14.5 cm	2.7 cm 2.1 cm

備考 ゴチツクは泰國産のものである。

採 集 地 チエンマイ

採集月日 昭和15年 4 月 7 日

2. *Oxyopes* sp. ササグモの一種

標本は雄の成體であるが同定する事が出来なかつたので、觸肢を圖示して置く。

採 集 地 バンコク

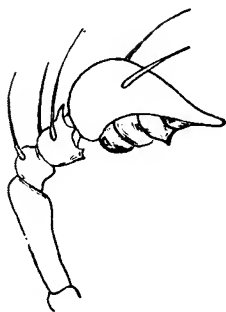
採集月日 昭和15年 6 月 11 日

3. *Lycosa* sp. ドクグモの一種

標本は雌の幼生である。此のドクグモは温泉地帯で採集されたもので、かなりの高温の土砂の上を歩行して居たとの事である。

採 集 地 チエンマイ

採集月日 昭和15年 4 月 7 日



く も を 搦 む (IV)

キノボリトタゲモ裏日本福井縣に産す

植村利夫氏 (Acta Arachnol. 第二卷第三號) 並に八木沼健夫氏 (我等の自然 第二號) に依れば *Pachylomerus fragaria* Doenitz は裏日本には未記録のやうである。筆者は幸ひにも本年 8 月 24 日福井縣坂井郡栗村山地、蘚類の 1 種 *Olenidium capillifolium* (Mitt) シノハゴケ (本種は野口彰氏の御同定を賜はりしもので深謝の意を表す次第である) の生



蕨類クシノハゴケ中に営巣せるキノボリトタテグモ

(昭和15年9月18日杉浦氏撮影)

えた地中に於て該種を發見し、裏日本最初の分布地として凱歌を擧げることが出来た。

10月6日福井縣坂井郡鶴村佐野賀寶神社境内及び附近の樹木(松・杉・ツガ・シヒ・クリ・クヌギ・柿)及び石垣に於て採集した。八木沼氏の上記御報告には一米以上には営巣稀であるやうであるが筆者の觀察では稀ではないやうである。

10月13日同郡大安寺村劍神社境内及び附近の樹木(松・杉・

シヒ・ツガ)に於て第三分布地を發見した 採集したクモは何れも♀で、営巣は蕨苔類を着ける稍濕氣のある老木に多い。(昭和15年10月18日記す)(藤田 衛)

眼列の記載

眼列の記載に前曲、後曲なる名稱が屢々用ひられるが、未だに決定してゐない様であるから之も新體制によつて統一すべきである。クモの前方を向ふむけて見た場合側眼が中眼より前にあるを或人は前曲と呼び、或人は後曲と言ふ。記載を読むものにとつて之程悩むことはない。前と後と取違へた爲、とんでもない誤を引起すことがある。一々例を擧げる事を省くが一度從來書かれたものを注意して見ると無數に發見されるであらう。歐文の方は全部統一されてゐるが、今まで日本語で書かれたものには二通りあつて、中でも「 \sim 」を前曲と呼んだ場合が相當多い。然し Recurve を後曲と譯し、Procurve を前曲と譯すならば前曲は「 \sim 」を指すべきである。Procurve を後曲、Recurve を前曲として用ひてゐる人もあるが無理に反對の譯をつける必要はあるまい。

之を要約すると次の通りになる。

Procurve 前曲 「 \sim 」(側眼が中眼より前)

Recurve 後曲 「 \sim 」(側眼が中眼より後)

今後記載をなされる方へ老婆心ながら申し添へる。(八木沼健夫)

張家口及び北京の結閥類

山下博士三學士が瀧尾博士に隨ひ蒙古方面の學術探検をなさるに先立ち Symphyla も居たら採集して來るから實物を見せて欲しいと態々私の許に來られ標品を檢して行かれた。

斯かる御熱心があつたればこそ私は別に期待して居なかつたのに 北支・蒙疆より2頭の貴重な標品を膺して下さつた。北支あたりにも *Symphyla* は居るに違ひないと信じて居たものゝ先學者により未だ1回も報告が無いから此の收穫は山下氏の手柄であり 私の欣びである。同氏の御厚意に對し深く謝意を表さねばならない。未だ精査しないけれども取敢へず北支・蒙疆の *Symphyla* として短報する。

1頭は1940年7月22日察哈爾省張家口で石下で獲られた歩脚10對の未成熟のものである。此の類は採集の際餘程入念に取扱はないと纖弱の觸角を毀損し易い。本個體は左觸角は完全で14節を數へ0.8耗を測る。體長は3耗。次の個體と同じものかと考へるが確信は無い。他の1頭は北支北京で7月中旬獲られたもので同所で採れた蜈蚣と同じ蟻中にあつたのを偶然見つけたのである。之は約4耗ある成體で觸角は左右共折損して居る。*Hanseniella* (*Hanseniella*) sp. たることは疑無い。(高島春雄)

東 亞 産 多 足 類 文 獻 目 録

第 2 輯 (1940年度)

高 島 春 雄

「東亞蜘蛛關係文獻目録」は前輯以後今日まで編者の目に觸れた文獻は僅かに4篇であるから今回は休載とし代りに本目録の第2輯を掲げる。1940年度分中10月末日迄に編者の覽得たものである。能ふ限り完璧を期し度いから脱漏お氣附きの場合は是非御高示を乞ふ。10月末日迄に獨の Verhoeff 博士も2篇を發表されて居るが正に高桑良興氏獨擅場の觀がある。もう確かに他力本願時代ではない。

- 1 Takakuwa, Yosio — Eine neue *Lamyetes*-Art (Chilopoda) aus Japan — 臺灣博物學會會報 30—197/198 : 39—40, 3圖
琉球大東島にて柳原政之氏が採集されたイシムカデを *Lamyetes gracilipes* n. sp. (p. 39) として記載。本屬は世界各地に分布するが本邦よりは初めての發見。
- 2 Takakuwa, Y. — Eine neue *Nodocephalus*-Arten (Chilopoda) aus Korea — 同上 41—42, 2圖
土居寛暢氏が京城にて採集のヂムカデをドキニブヅヂムカデ *Nodocephalus doii* n. sp. (p. 41) として記載。